


Hewlett Packard
Enterprise



アジャイルサービスプロバイダー向け フレキシブルIT

従量制の優れた経済性を活かして
高い競争力を実現

開始





目次

IT環境にスピード、柔軟性、自由をもたらす 1

プロビジョニングの難問 2

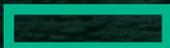
HPE GreenLake: Everything as a Service 4

サービスプロバイダーのROIの向上 5

サービスプロバイダーが従量制課金
モデルからメリットを得る方法 6

HPE GreenLakeで顧客に魅力的な提案を行う 7

HPE GreenLakeの実例 8



IT環境にスピード、柔軟性、自由をもたらす 従量制のソリューションでビジネスを構築

昨年はワークロードや業務要件の変化に迅速に対応できるアジャイルITインフラストラクチャの価値が実証され、従来のITインフラストラクチャの管理方法に戻ることはできなくなりましたが、その代わりにクラウドと従量制課金¹のコンピューティングモデルへの移行が急速に進みました。

クラウド、通信、およびマネージドサービスプロバイダーにとっては、**エンドカスタマーと緊密に連携してデジタルトランスフォーメーションを加速できる機会が拡大していますが、その収益機会は大きく、IDC社は6.8兆ドルに及ぶIT支出の41%が2023年までにクラウドコンピューティングに関連するものになると予測しています²。**

データインフラストラクチャの半数は 2024年までにクラウドを介して利用されるようになる

さらにIDC社は、2024年までにエッジサイトのインフラストラクチャの75%超が、またデータセンターインフラストラクチャの半数超がサービスとして利用および運用されるようになる予測しています³が、従量制のITソリューションに対する支出が急増する中でスキルとリソースの不足がサービスプロバイダーの機会の妨げになる可能性があります。

また顧客と同じように、企業も限られたIT予算、ITスキルの不足、レガシーインフラストラクチャ、コンプライアンスやガバナンスの負担の増加といった課題に直面

する可能性があります。日々のインフラストラクチャの運用とメンテナンスをより効率的に高いコスト効率で行える誰かに任せれば、他の組織と同じようにこうした課題を解決できます。

そこで登場するのが、**Everything as a Service**プラットフォームとして組織に欠かせない高い競争力をもたらすことができる**HPE GreenLake**なのです。**HPE GreenLake**は、エッジ、共同配置施設、またはデータセンターなどの場所を問わずアプリケーションとデータに直接クラウドエクスペリエンスをもたらします。また、お客様に代わって**HPE**が管理する従量制課金のスケーラブルなポイントアンドクリックセルフサービスのエクスペリエンスにより、最も重要なワークロードをサポートするサービスを提供します。データ移動やイーグレスの費用が発生することがなく、市場投入までの時間の短縮、資金の温存、既存の投資の最適化といった多岐にわたるメリットが得られる**HPE GreenLake**でビジネスを展開することをお勧めします。

¹ 制限事項が適用される場合があります。

² 「ネクストノーマル」への対応の鍵となるクラウドとエッジコンピューティング: IDC、CRN誌、2020年10月。

³ 「2020年以降のデータセンター: エッジ、as a Service、AIの増加」、Redmond誌、2019年11月。

プロビジョニングの難問 多すぎても少なすぎてもいけない

戦略的なテクノロジーの変革を自力で実行するのに必要な内部スキルや内部リソースを持つ組織がほとんどない世界では、マネージドサービスに対する需要が高くなるのに加え、「ハイパースケールクラウドプラットフォームに代わる信頼性の高いソリューションを提供するサービスプロバイダーが増加し続ける」と451 Research社は予測しています⁴。

こうした機会を活かすには、サービスプロバイダーはプロビジョニングのジレンマを解消しなければなりません。使用されないリソースへの支出は無駄になるため、サービスプロバイダーは他の組織と同じようにITインフラストラクチャのオーバープロビジョニングを回避する必要があるうえ、オーバープロビジョニングは環境にも悪影響を与えます。一方、サービスプロバイダーはITのニーズを予測できない複数の顧客にサービスを提供するビジネスを展開しているため、突然の需要の急増に対応するときに利用できる予備の容量を確保しておく必要があり、アンダープロビジョニングはビジネスの損失や顧客のニーズに対応できない事態につながる可能性があります。

そのため、利益になるビジネスを展開するには、現在何が求められているのかにかかわらず、高いコスト効率で柔軟に適切なレベルのプロビジョニングを実現できなければなりません。

HPE GreenLakeの消費に基づくモデルはこうした難問を解決します。お客様は使用した分の料金を使用したタイミングで支払いますが、ニーズに合わせて迅速に有効にできるバッファ容量が用意されています。また予約量を超えて使用した容量の料金は使用したタイミングで支払う方式になっており、使用量に合わせてコストが増減するため、お客様の運用モデルの柔軟性が大幅に向上し、市場の需要の変化にすばやく対応することが可能になります。

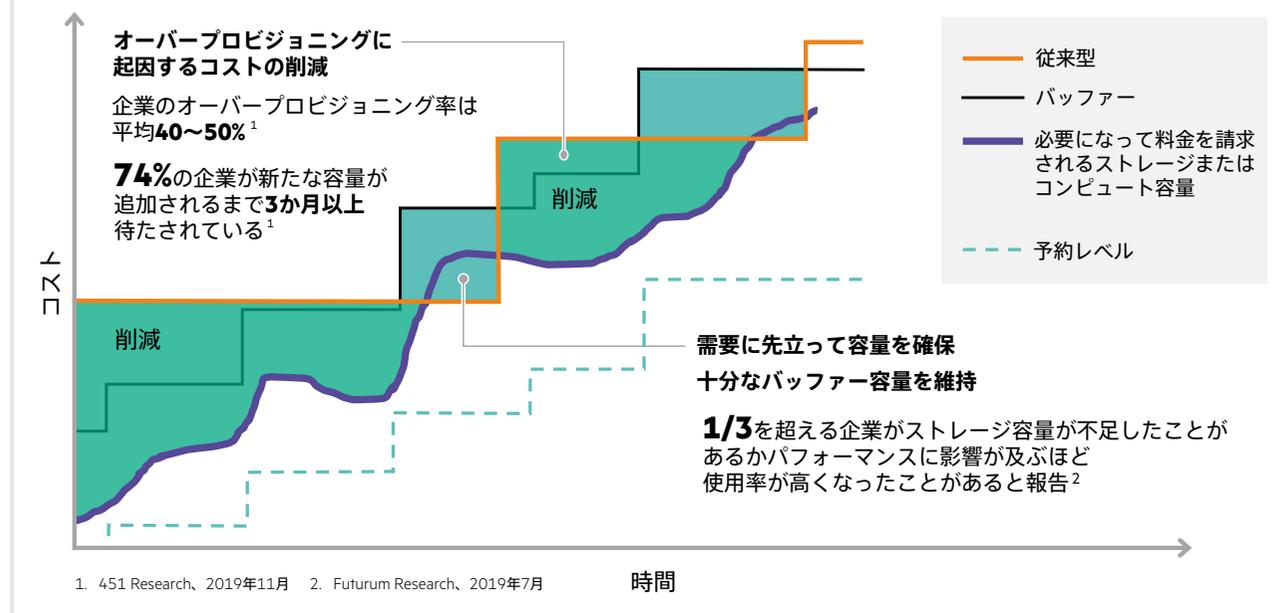
⁴『2021年のクラウドとマネージドサービスの変革の動向』、451 Researchプレビューレポート、2020年12月。

HPE GreenLakeの消費に基づくモデルはこうした難問を解決します。

お客様は使用した分の料金を使用したタイミングで支払います。



as a Serviceモデルによるコスト削減の仕組み



HPE GreenLakeの消費に基づくモデルは、ほぼ即時にコストメリットをもたらします。容量を追加できるうえ、予約量を超えて使用した容量の料金は使用したタイミングで支払うため、使用量に合わせてコストが増減します。さらに、消費のレベルが上がると優遇価格が適用されるようになっており、一般的に消費量に合わせて料金が変わる大部分のハイパースケールクラウドプロバイダーのモデルより汎用的です。

お客様事例

アジャイルなバックアップサービスの提供

スイスに拠点を置くクラウドサービスプロバイダーの LAKE Solutions社は、自社のクラウドで提供されるバックアップサービス用のデータストレージソリューションを必要としていました。HPEのPlatinumパートナーである同社は、クラウドのアジリティと優れた経済性で予測不可能な顧客の需要に対応する、HPE GreenLakeをベースとする信頼性、安全性、および拡張性に優れたバックアップソリューションの提供をHPEに依頼しました。

同社にとって、柔軟性とは時間とともに顧客から求められるバックアップ容量を予測できないという解消されることのない課題に対処できることを意味しますが、このソリューションはこうした課題に正面から取り組むと同時に、同社が競争力と収益性の両方を維持できるようにコストを管理することを可能にします。HPE GreenLakeによって同社は容量を柔軟に拡張できるようになっただけでなく、実際に使用した容量の料金を支払うだけで済むようになりました。



HPE GREENLAKE: EVERYTHING AS A SERVICE

オンプレミス インフラストラクチャのメンテナンスではなくビジネス 成果に注力することが可能

HPE GreenLakeは、あらゆる場所のアプリケーションとデータにクラウドエクスペリエンスをもたらします。コストのかかるメンテナンスが必要なハードウェアに多額の資本を投資するのではなく、コンピュー、ストレージ、およびネットワーキング機能を必要なときに従量制課金で購入し、内部のニーズとエンドカスタマーの要件に応じてリソースを簡単に増減できます。

HPE GreenLakeは、柔軟性を向上させて市場投入までの時間を短縮し、ITに関するすべてのニーズをカバーする完全なas a Serviceのポートフォリオを提供することによって、既存の環境にクラウドのようなエクスペリエンスをもたらすものであり、コンテナ化、ストレージ、コンピュー、仮想マシン、データ保護、機械学習運用といった、幅広いクラウドサービスポートフォリオの迅速な展開を可能にするうえ、初期費用も必要ありません。

HPE GreenLakeは、先行投資が必要なく、インフラストラクチャのオーバープロビジョニングを伴わない従量制課金モデルにより、オンプレミスでas-a-Serviceのクラウドの経済性を提供します。このソリューションによってコストの完全な可視化と制御が可能になり、サービスプロバイダーは組織と顧客のニーズに最適なパブリック、プライベート、およびオンプレミスワークロードの組み合わせを実現できます。

組み込みのサービスがルーチンのサポートと善後処置を引き受けるうえ、オプションのHPE GreenLake管理サービスによってリモート監視、運用、アップデート、および管理機能が追加されます。またHPE GreenLake Centralにより、ハイブリッド資産全体の使用状況とコストを一元的に把握できます。

マルチテナント環境を運用したいと考えているサービスプロバイダーは、HPEの認定エコシステムパートナーと連携できます。

HPE GreenLakeが選ばれる4つの理由

従量制課金

資金を自由に使えるようにして財務面の柔軟性を高めることができます。

スケールアップとスケールダウン

ペナルティなしで使用量を増減できます。

ITの簡素化

単一のセルフサービスプラットフォームからハイブリッドIT資産全体の運用と有益な情報を一元管理できます。

ルーチンの管理の自動化

HPEのテクニカルエキスパートのサポートにより、オンプレミスのクラウドとパブリッククラウドを簡単に監視および管理できます。

サービスプロバイダーのROIの向上

急速に進化するビジネスに対応できるスケーラブルなITのプロビジョニング

HPE GreenLakeにより、急速に進化するサービスプロバイダーは組織の進化に合わせて柔軟にITを利用できます。従量制課金のインフラストラクチャに移行すれば、技術面と財務面で幅広いメリットがもたらされ、クラウド、as a Service、およびマネージドサービスの分野でより効果的に競い合えるようになります。

ビジネスに変革をもたらすHPE GreenLakeの3つのアプローチ:

スピードの向上

- **迅速なプロビジョニング:** HPE GreenLake では、HPE GreenLake Central のセルフサービス機能を使用して展開を自動化することにより、スイッチを入れるのと同じくらい簡単に新しいサービスをプロビジョニングしたりコンピューティング性能を追加したりできます。HPE とお客様が共同で継続的にキャパシティ管理を行うことにより、需要に先立って必要ときに容量を追加することが可能になります。
- **迅速な市場投入:** リソースの提供を待つ時間が無駄になることがなく、これまでよりはるかに迅速に新しいサービスやソリューションを顧客に展開できます。
- **迅速な投資回収:** コストを削減して生産性を向上させることにより、投資回収期間を短縮できます。

アジリティの向上

- **柔軟な支払い:** 従量制課金モデルにより、売上高に見合ったコストを実現できます。効率が向上すると所有コストが削減されます。
- **柔軟なプロビジョニング:** オーバープロビジョニングやアンダープロビジョニングの危険が過去の問題になります。
- **柔軟な運用:** ビジネスや顧客のニーズの変化に合わせて、また最新のテクノロジーソリューションを取り入れて進化するインフラストラクチャを活用できます。

自由の獲得

- **想定外のコストが発生しない:** 明確な価格設定でサービスの提供に必要なコストを予測しやすいため、自信を持って顧客の課金モデルを構築できます。
- **計画外のダウンタイムが起きない:** 強力な自動化ツールと管理ツールに専門的な技術リソースを組み合わせることにより、ダウンタイムを短縮できます。
- **自由な成長:** 独自のクラウドプラットフォームを構築したり自社のクラウドプラットフォームを最適化したりできます。また、ハイブリッド環境をサポートする必要がある場合にハイパースケールサービスを利用できるオプションも用意されています。テスト、実験、および成長に合わせた支払いが可能です。
- **アップグレードサイクルからの解放:** HPE GreenLake にはテクノロジーリフレッシュが組み込まれているため、顧客に提供するサービスの品質が向上するうえ、サービスを構築するための強力なプラットフォームが手に入ります。



サービスプロバイダーが従量制課金モデルからメリットを得る方法



価値実現時間の短縮

アプリケーションとサービスの展開を迅速化

ITプロジェクトの展開に必要な時間を

75%
短縮⁵

シンプルなIT

付加価値をもたらす作業に注力できるようスタッフの時間を解放

ITスタッフの生産性が

40%
向上⁵

クラウドの経済性

設備投資が必要なく、オーバープロビジョニングやアンダープロビジョニングのリスクが軽減される

TCOの削減率が
最大
40%に⁵

制御の強化

パフォーマンス、レイテンシ、リスク、およびコストが最適化される

計画外のダウンタイムが

85%
短縮される⁶

⁵『HPE GreenLakeの総合的経済効果: HPE GreenLakeがもたらすビジネスメリットとコスト削減効果』、HPEが委託したForrester総合的経済効果調査、2020年6月。

⁶『HPE GreenLake管理サービスのビジネス価値』、HPE後援IDCホワイトペーパー、2020年1月。

お客様事例

顧客の需要の変化に合わせてサーバーとストレージ容量を柔軟に拡張

Sopra Steria社はHPE GreenLakeを活用し、柔軟な従量制課金モデルでさまざまな顧客にホステッドITサービスを提供しています。これにより、同社は新たなハードウェアを購入することなく、個々の顧客の需要に合わせて迅速かつシームレスに容量を拡張できます。

Sopra Steria社はHPE GreenLakeとHPE Synergyによって効率と柔軟性を大幅に向上させ、CAPEXをなくすとともにサービスによって運用コストと人件費を15%~30%削減しています。最大のメリットはビジネス・アジリティの向上とオンデマンドでの拡張であり、同社のITチームは、システムのメンテナンスと容量のプロビジョニングに費やす時間が減ったことでより多くの時間を上位レベルのビジネスプロジェクトに投入できています。

HPE GREENLAKEで顧客に魅力的な提案を行う

競争市場における差別化

サービスプロバイダーは、顧客が自らではなくサービスプロバイダーの方がITサービスとインフラストラクチャをより効率的に高いコスト効率で運用できることを知ったときに収益を生み出しています。また今日の競争社会では、自社がハイパースケールクラウドプロバイダーのクラウドサービスと同じように拡張性、柔軟性、および価格競争力の高いサービスを提供できることを示すのも重要です。

HPE GreenLakeを利用して従量制のIT環境に移行すれば、カスタマー・エクスペリエンスを向上させて高い競争力を得ることができます。このプラットフォームは、顧客のニーズの変化に対応する付加価値の高いサービスやソリューションを迅速に開発してイノベーションを示すことを可能にします。また重要なポイントとして、エンドカスタマーが納得する価格でそれを実現できます。

as a Serviceとクラウドソリューションの差別化に役立つHPE GreenLakeの4つのアプローチ

隠れたコストがない

HPE GreenLakeは、利用するリソースの量に応じて価格が変化する唯一のモデルです。ビジネスが成長する中で顧客に請求する金額を減らしたり、利益を増やしたりできます。

利用終了時にコストが発生しない

HPE GreenLakeでは、データを移動して利用を終了してもコストが発生することがなく、スケールアップと同じくらい簡単にスケールダウンできます。

カスタマー・エクスペリエンスの向上

ハイパースケールの競合企業より複雑な環境を運用する顧客のエクスペリエンスをきめ細かくカスタマイズして各自のニーズに合ったものにできます。

コンプライアンスの強化

HPE GreenLakeを利用すれば、国内や業界に固有のデータ主権のガイドラインに十分注意しながらパブリッククラウドのメリットを提供できます。

お客様事例

ニュージーランドのサービスプロバイダーがより大規模で競争力の高いビジネスを構築

Revera Cloud Services社との合併によってニュージーランド最大規模のIT管理およびクラウドサービスプロバイダーとなったCCL社は、合併後の組織をサポートする次世代コンピュータプラットフォームを構築したいと考えていました。そしてその演算リソースをより適切に管理できるよう、同社はHPE GreenLakeを利用してHPE Synergyを調達しました。

これについて、CCL社のInfrastructure as a Service (IaaS) シンプル化プロジェクト担当責任者であるEvan Greenwood氏は次のように述べています。「HPE GreenLakeのメリットの1つとして、インストールサービスを利用できる点が挙げられます。通常はサービスの料金を支払うと、箱に入ったサーバーが届いてインストールがうまくいくのを願うこととなりますが、HPE GreenLakeでは基本的に同じ金額でインストールサービスが提供され、通常よりきめ細かいサポートを受けられます」。

HPE GREENLAKEの実例

サービスプロバイダーの声

世界中の多くのサービスプロバイダーがすでにHPE GreenLakeで従量制のIT環境に移行して環境を最適化し、顧客に変化をもたらす戦略的な業務に数少ない内部リソースを振り向けています。こうしたプロバイダーの声には、先進的な考えを持つサービスプロバイダーがビジネスを強化してその将来性を考慮するためにHPE GreenLakeのプラットフォームを選択している多くの理由が示されています。

//

HPE GreenLakeによって顧客満足度を向上させることができます。これまでより迅速にお客様のニーズに対応して価値をもたらすことが可能になりました。HPE社がサーバーとストレージのメンテナンスを継続的に行ってくれるため、ビジネスリスクが軽減されただけでなく、従量制課金の財務モデルはSopra Steriaとお客様両方の役に立っています。HPE GreenLakeは全員にメリットをもたらしてくれます。

Sopra Steria社最高技術責任者、Tor Neset氏

//

HPE GreenLakeでビジネスとテクノロジーのエクスペリエンスを融合することにより、お客様に素晴らしい提案が行えます。今では、お客様がクラウド向けに基礎から構築された世界屈指の非常にセキュアなテクノロジーにアクセスできるよう、プライベートとパブリック両方の最高のクラウドインフラストラクチャを提供することが可能です。

Wavenet社CEO、Bill Dawson氏

//

当社では容量に多額の先行投資を行っていたため、お客様が規模を縮小する必要があった場合はそのコストを負担していたというのがこれまでの最大の問題でした。

今ではHPE GreenLakeにより、使用量に基づいてインフラストラクチャの実際のコストを月単位で把握できます。HPE GreenLakeは、これまでよりはるかに透明性が高く柔軟性にも優れています。

LAKE Solutions社最高執行責任者、Daniele Palazzo氏

HPE GreenLakeの従量制の優れた経済性によってサービスプロバイダーのビジネスを強化し、クラウドのアジリティとオンプレミスソリューションの制御性を手に入れることができます。

HPEの担当者にお問い合わせのうえ、ニーズに合わせて柔軟に利用できるITでビジネスを加速させる方法をご確認ください。

© Copyright 2021 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パッカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

a00116695JPN, 2021年9月

お客様のニーズに最適な製品をお選びください。
HPEのプリセールススペシャリスト
にお問い合わせください。



チャット



電話

 メールニュース配信登録